

# 平成25年3月期 決算説明資料

株式会社 紀陽ホールディングス

【 目 次 】

1. 平成25年3月期 決算ダイジェスト	.....	P 2～7
2. 決算の概況		
(1) 損益状況	.....	P 8～9
(2) 業務純益	.....	P 10
(3) 利鞘	.....	P 10
(4) 有価証券関係損益	.....	P 10
(5) 有価証券の評価損益	.....	P 11
(6) 自己資本比率(第二基準、国内基準)	.....	P 12
(7) ROE	.....	P 13
3. 貸出金等の状況		
(1) リスク管理債権(紀陽ホールディングス連結)	.....	P 14
(2) リスク管理債権(紀陽銀行単体)	.....	P 15
(3) 金融再生法開示債権(紀陽銀行単体)	.....	P 16
(4) 開示債権における各種基準の比較(紀陽銀行単体)	.....	P 17
(5) 業種別貸出状況等(紀陽銀行単体)	.....	P 18
(6) 消費者ローン残高	.....	P 19
(7) 中小企業等貸出比率	.....	P 19
(8) 国別貸出状況等(紀陽銀行単体)	.....	P 19
(9) 預金、貸出金等の残高	.....	P 19
<参考資料>		
(紀陽銀行分) 連結財務諸表・個別財務諸表	.....	P 20～25
・連結財務諸表(連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書)		
・個別財務諸表(貸借対照表、損益計算書)		

(注) 本資料のうち将来に関する事項につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 1. 平成25年3月期 決算ダイジェスト

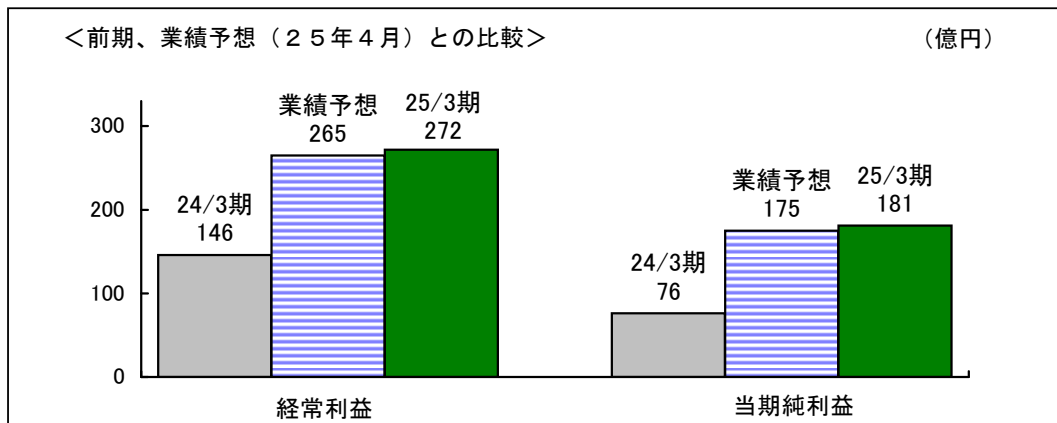
## (1) 損益の状況

## ① 紀陽ホールディングス連結

当期の紀陽ホールディングス連結の経営成績は、その他業務利益の増加により連結粗利益が増加したことや、不良債権処理額の減少などにより与信コストが減少したこと、さらに株式関係損益の改善などもあり、経常利益は前期比125億円増加の272億円、当期純利益は前期比105億円増加の181億円となりました。

	25年3月期		24年3月期
		24年3月期比	
1 連結粗利益	68,707	6,506	62,201
2 資金利益	50,802	△ 1,482	52,284
3 役務取引等利益	7,318	△ 116	7,434
4 その他業務利益	10,585	8,104	2,481
5 営業経費(△)	40,117	△ 1,325	41,442
6 一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,359	△ 2,359
7 不良債権処理額②(△)	3,563	△ 4,326	7,889
8 (与信費用①+②)	(3,563)	(△ 1,966)	(5,529)
9 うち貸出金償却(△)	3,003	△ 1,019	4,022
10 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 3,517	3,517
11 貸倒引当金戻入益	201	201	—
12 償却債権取立益	1,629	△ 70	1,699
13 株式関係損益	△ 530	2,442	△ 2,972
14 経常利益	27,242	12,576	14,666
15 特別損益	△ 90	△ 1,478	1,388
16 うち退職給付制度改定益	—	△ 1,476	1,476
17 うち減損損失(△)	32	△ 5	37
18 法人税、住民税及び事業税(△)	1,683	1,225	458
19 法人税等調整額(△)	7,189	△ 677	7,866
20 当期純利益	18,125	10,523	7,602
21 (ご参考) 与信コスト総額	1,705	△ 2,125	3,830

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)  
 3. 与信コスト総額は、与信費用に貸倒引当金戻入益・償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。  
 4. (△)は損失項目です。



## ② 紀陽銀行単体

- 紀陽銀行単体ベースの業務粗利益は、資金利益や役員取引等利益が減少となったものの、債券関係損益を主因にその他業務利益が増加したことなどから、前期比66億円増加の646億円となりました。
- 資金利益については、市場金利の低下に伴い預金等利回が低下し資金調達費用が減少したものの、貸出金利回や有価証券利回の低下により資金運用収益が減少したことなどから、前期比14億円減少の506億円となりました。
- 役員取引等利益については、投資信託の販売手数料などが増加したものの、住宅ローン支払保険料の増加などにより、前期比1億円減少の43億円となりました。
- その他業務利益については、債券関係損益の増加などにより、前期比83億円増加の95億円となりました。
- 経費については、引き続き経費削減に注力したことや、預金保険料の返戻などにより、前期比7億円減少の371億円となりました。
- 与信コスト総額については、前期同様、一般貸倒引当金の取崩し発生などにより、前期比20億円減少の10億円となりました。
- 株式関係損益については、減損処理などにより、△5億円となりました。
- 当期純利益については、前期比106億円増加の192億円となりました。

(百万円)

	25年3月期	24年3月期	
		24年3月期比	24年3月期
1 業務粗利益	64,611	6,682	57,929
2 資金利益	50,693	△ 1,464	52,157
3 役員取引等利益	4,327	△ 167	4,494
4 その他業務利益	9,590	8,314	1,276
5 うち債券関係損益	9,330	8,396	934
6 経費(△)	37,158	△ 795	37,953
7 一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,021	△ 2,021
8 業務純益	27,452	5,455	21,997
9 コア業務純益	18,177	△ 863	19,040
10 不良債権処理額②(△)	2,111	△ 4,207	6,318
11 (与信費用①+②)	(2,111)	(△ 2,186)	(4,297)
12 うち貸出金償却(△)	1,776	△ 1,072	2,848
13 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 3,134	3,134
14 貸倒引当金戻入益	78	78	—
15 償却債権取立益	966	△ 171	1,137
16 株式関係損益	△ 530	2,442	△ 2,972
17 その他臨時損益	1,895	703	1,192
18 経常利益	27,751	12,715	15,036
19 特別損益	△ 63	△ 1,457	1,394
20 うち退職給付制度改定益	—	△ 1,476	1,476
21 うち減損損失(△)	8	△ 29	37
22 法人税、住民税及び事業税(△)	1,431	1,370	61
23 法人税等調整額(△)	6,964	△ 747	7,711
24 当期純利益	19,293	10,635	8,658
25 (ご参考) 与信コスト総額	1,039	△ 2,063	3,102

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益(債券5勘定戻)・買入金銭債権売却損益控除後の業務純益です。

3. 与信コスト総額は、与信費用に貸倒引当金戻入益・償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

4. (△)は損失項目です。

(ご参考) 貸倒引当金繰入額の内訳

(百万円)

	25年3月期	24年3月期	
		24年3月期比	24年3月期
26 一般貸倒引当金繰入額	△ 1,552	469	△ 2,021
27 個別貸倒引当金繰入額	1,473	△ 1,664	3,137
28 合計	△ 78	△ 1,193	1,115

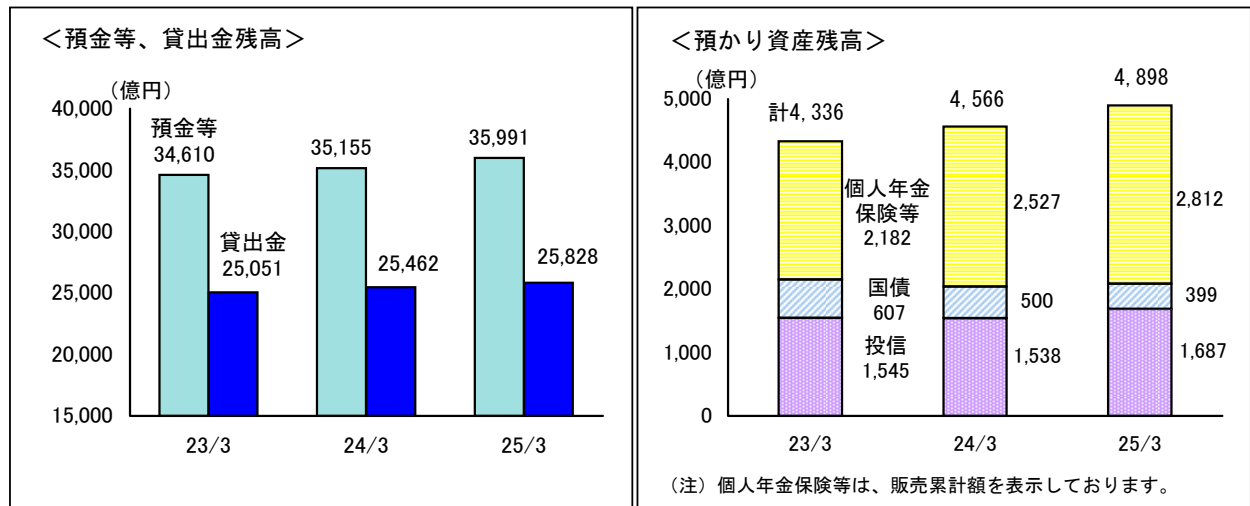
(注) 25年3月期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計で取崩しとなりましたので、その合計額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

## (2) 主要勘定の状況 (紀陽銀行単体)

- 事業性貸出金が順調に増加したことなどから、貸出金残高は、前期末比366億円増加の2兆5,828億円となりました。
- 預金・譲渡性預金合計は、個人預金や法人預金を中心に増加し、前期末比836億円増加の3兆5,991億円となりました。

(百万円)

(期末残高)	25年3月末		24年3月末
		24年3月末比	
貸出金	2,582,839	36,637	2,546,202
うち消費者ローン	888,445	△10,385	898,830
預金・譲渡性預金合計	3,599,132	83,606	3,515,526
うち個人預金	2,658,703	15,361	2,643,342
預かり資産(投資信託)	168,712	14,829	153,883
預かり資産(国債等)	39,953	△10,093	50,046
個人年金保険等販売累計額	281,204	28,437	252,767



## (3) 有価証券の状況 (紀陽銀行単体)

- 金融緩和強化への期待感を背景に、株高や金利低下が進行したことなどから、その他有価証券評価差額は、前期末比141億円増加し、329億円の評価益となりました。

## &lt;その他有価証券で時価のあるもの&gt;

(百万円)

	25年3月末				24年3月末 (評価損益)
	貸借対照表計上額	評価損益	うち評価益	うち評価損	
株 式	37,325	8,571	9,950	1,379	1,175
国内債券	563,942	12,731	12,744	13	12,267
外国債券	204,644	4,407	6,406	1,998	2,255
その他	21,393	2,771	2,970	198	△2,028
うち投資信託	20,062	2,773	2,959	186	△2,004
小 計	827,305	28,481	32,071	3,590	13,670
保有目的区分の変更による評価差額	—	4,441	4,441	—	5,122
合 計	827,305	32,922	36,513	3,590	18,792

## (4) 不良債権の状況 (金融再生法開示債権) (紀陽銀行単体)

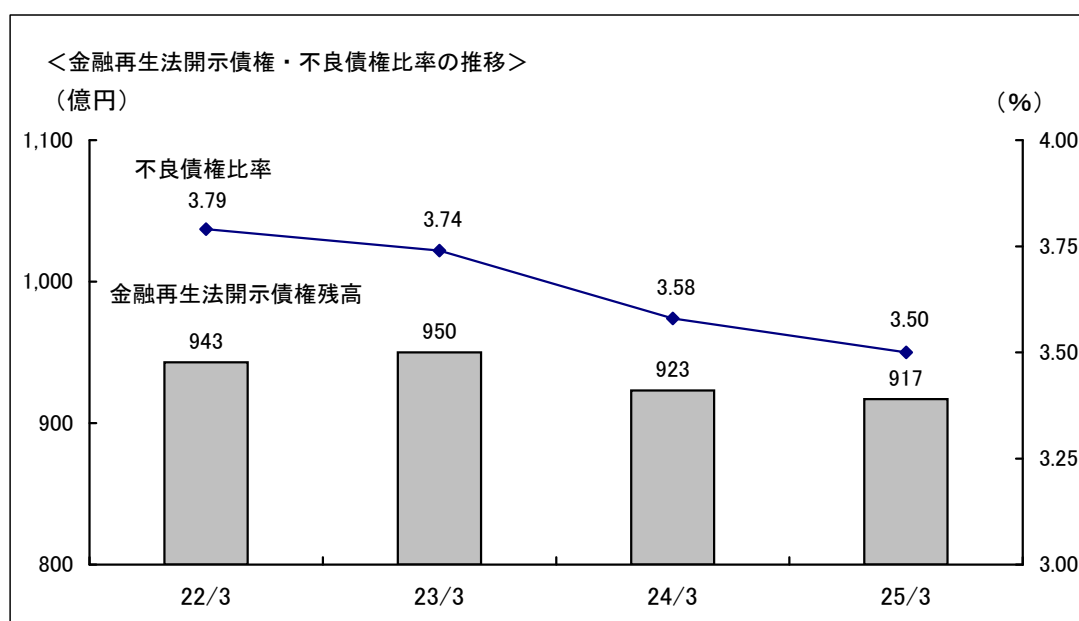
- 地元中小企業の事業再生や経営改善支援への取組みを推し進めるとともに、中小企業金融円滑化法終了を見据えた対応をおこなってまいりました。
- このような活動の結果、金融再生法ベースの不良債権残高は、前期末比で6億円減少し、917億円となりました。また、不良債権比率は、前期末比で0.08%低下し、3.50%となりました。
- なお、25年3月末の引当率は49.3%、保全率は84.4%となりました。

## ① 不良債権 (金融再生法開示債権) の状況

	25年3月末		24年3月末
	24年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,068	△ 2,707	22,775
危険債権	64,974	2,422	62,552
要管理債権	6,690	△ 366	7,056
小計 (不良債権)	91,733	△ 651	92,384
正常債権	2,522,633	36,100	2,486,533
合計	2,614,366	35,449	2,578,917
再生法開示債権比率 (不良債権比率)	3.50%	△ 0.08%	3.58%

## ② 保全状況

	25年3月末		24年3月末
	24年3月末比		
不良債権額	91,733	△ 651	92,384
担保・保証等	63,554	△ 579	64,133
不良債権額のうち、担保・保証等によりカバーされていない部分	28,178	△ 72	28,250
貸倒引当金	13,917	△ 18	13,935
引当率	49.3%	—	49.3%
保全率	84.4%	△ 0.1%	84.5%



## (5) 自己資本比率及び繰延税金資産の状況

- 紀陽ホールディングス連結の自己資本比率は、11.14%（前期末比△0.49%）となりました。また、紀陽銀行単体の自己資本比率は、10.42%（前期末比△0.48%）となりました。
- 紀陽ホールディングス連結の自己資本は、公的資金返済による資本剰余金の減少などにより、2,028億円（前期末比△50億円）となりました。
- 紀陽ホールディングス連結のリスクアセットは、事業性貸出金が増加したことなどにより、1兆8,200億円（前期末比+338億円）となりました。
- 繰延税金資産のTier Iに対する割合は、紀陽ホールディングス連結では3.4%（前期末比△7.1%）、紀陽銀行単体では2.8%（前期末比△7.5%）と低下いたしました。

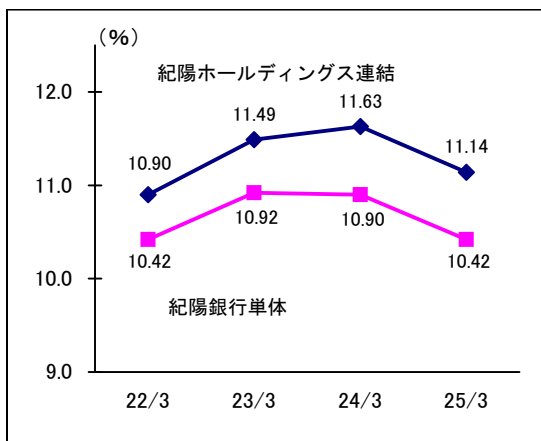
## ① 紀陽ホールディングス連結

	25年3月末 (速報値)	(百万円、%)	
		24年3月末比	24年3月末
自己資本比率	11.14%	△ 0.49%	11.63%
Tier I比率	8.84%	△ 0.16%	9.00%
自己資本	202,822	△ 5,045	207,867
うちTier I	160,946	48	160,898
うちTier II	41,876	△ 5,092	46,968
リスクアセット	1,820,054	33,898	1,786,156
繰延税金資産	5,592	△ 11,461	17,053
Tier I対比	3.4%	△ 7.1%	10.5%

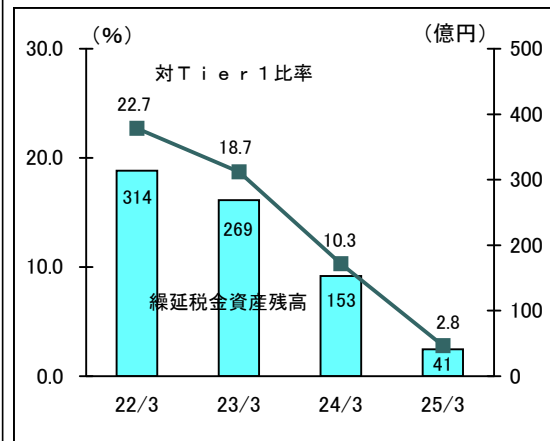
## ② 紀陽銀行単体

	25年3月末 (速報値)	(百万円、%)	
		24年3月末比	24年3月末
自己資本比率	10.42%	△ 0.48%	10.90%
Tier I比率	8.18%	△ 0.18%	8.36%
自己資本	188,559	△ 5,215	193,774
うちTier I	148,158	△ 462	148,620
うちTier II	40,401	△ 4,752	45,153
リスクアセット	1,809,499	32,873	1,776,626
繰延税金資産	4,167	△ 11,227	15,394
Tier I対比	2.8%	△ 7.5%	10.3%

&lt;自己資本比率の推移&gt;



&lt;繰延税金資産の推移（紀陽銀行単体）&gt;



## (6) 平成26年3月期 業績予想・配当予想

## ① 業績予想

○平成26年3月期の業績予想につきましては、連結経常利益115億円、連結当期純利益82億円を見込んでおります。なお、業績予想の前提につきましては、以下のような状況を踏まえたものとしております。

- ・当期は、債券関係損益の大幅増加といった特殊要因に加え、有価証券の減損処理の減少、及び与信コストの減少などにより大幅な増益となりましたが、平成26年3月期の業績予想につきましては、こういった特殊要因は見込んでおりません。
- ・資金利益につきましては、お客さまとの接点の充実や営業力の強化などにより、預金・貸出金残高の増加基調を維持できるものと考えておりますが、現在の市場金利水準が続く想定のもと、減少するものと考えております。
- ・役務取引等利益につきましては、引き続きお客さまのニーズに合った金融商品のラインナップを充実させることなどにより、当期と同程度での推移を見込んでおります。
- ・与信コストにつきましては、中小企業を取り巻く経営環境は依然不透明ななか、中小企業金融円滑化法終了の影響なども見据え、一定の与信コストの発生を見込んでおります。
- ・保有有価証券につきましては、減損処理による一定の損失発生を見込んでおります。

## &lt;紀陽ホールディングス連結&gt;

(億円)

	実績	予想	
	平成25年3月期通期	平成26年3月期 第2四半期連結累計期間	平成26年3月期通期
経常収益	872	372	752
経常利益	272	61	115
当期純利益	181	39	82

(注) 当社は、株主総会及び種類株主総会の承認並びに監督官庁の認可等を前提に、平成25年10月1日を効力発生日として、当社子会社である株式会社紀陽銀行を存続会社とする合併契約を締結いたしましたので、平成26年3月期の通期連結業績予想については、株式会社紀陽銀行の連結業績予想を記載しております。

## &lt;紀陽銀行単体&gt;

(億円)

	実績	予想	
	平成25年3月期通期	平成26年3月期 第2四半期累計期間	平成26年3月期通期
経常収益	796	338	680
コア業務純益	181	79	160
業務純益	274	79	163
経常利益	277	66	125
当期純利益	192	46	98

## ② 配当予想

	平成26年3月期 通期		
	中間	期末	
普通株式	—	30円00銭	30円00銭
第4回第一種優先株式	—	—	—

(注) 当社は、株主総会及び種類株主総会の承認並びに監督官庁の認可等を前提に、平成25年10月1日を効力発生日として、当社子会社である株式会社紀陽銀行を存続会社とする合併契約を締結いたしましたので、株式会社紀陽銀行による予想配当額を記載しております。

なお、当該合併では、当社株式10株につき紀陽銀行株式1株を割り当てることを予定しております。また、第4回第一種優先株式につきましては、当社が自己株式として全株式の取得を予定していることから記載しておりません。



## 2. 決算の概況

## (1) 損益状況

## 【紀陽ホールディングス連結】

(百万円)

	25年3月期		24年3月期
		24年3月期比	
1 連結粗利益	68,707	6,506	62,201
2 資金利益	50,802	△ 1,482	52,284
3 役員取引等利益	7,318	△ 116	7,434
4 その他業務利益	10,585	8,104	2,481
5 営業経費(△)	40,117	△ 1,325	41,442
6 一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,359	△ 2,359
7 不良債権処理額②(△)	3,563	△ 4,326	7,889
8 (与信費用①+②)	(3,563)	(△ 1,966)	(5,529)
9 貸出金償却(△)	3,003	△ 1,019	4,022
10 個別貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 3,517	3,517
11 その他の不良債権処理額(△)	559	210	349
12 貸倒引当金戻入益	201	201	—
13 償却債権取立益	1,629	△ 70	1,699
14 株式関係損益	△ 530	2,442	△ 2,972
15 その他	915	205	710
16 経常利益	27,242	12,576	14,666
17 特別損益	△ 90	△ 1,478	1,388
18 うち退職給付制度改定益	—	△ 1,476	1,476
19 うち減損損失(△)	32	△ 5	37
20 税金等調整前当期純利益	27,152	11,098	16,054
21 法人税、住民税及び事業税(△)	1,683	1,225	458
22 法人税等調整額(△)	7,189	△ 677	7,866
23 法人税等合計(△)	8,873	548	8,325
24 少数株主損益調整前当期純利益	18,279	10,550	7,729
25 少数株主利益(△)	153	26	127
26 当期純利益	18,125	10,523	7,602
27 (ご参考) 与信コスト総額	1,705	△ 2,125	3,830

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用)  
+ (その他業務収益 - その他業務費用)3. 与信コスト総額は、与信費用に貸倒引当金戻入益・償却債権取立益などの与信関連損益  
を加味して算出しております。

4. (△) は損失項目です。

## (連結対象会社数)

	25年3月期		24年3月期
		24年3月期比	
連結子会社数	7	—	7
持分法適用会社数	—	—	—

【紀陽銀行単体】		(百万円)		
		25年3月期	24年3月期比	24年3月期
1	業務粗利益	64,611	6,682	57,929
2	(除く債券関係損益)	55,281	△ 1,713	56,994
3	資金利益	50,693	△ 1,464	52,157
4	役務取引等利益	4,327	△ 167	4,494
5	その他業務利益	9,590	8,314	1,276
6	国内業務粗利益	58,259	4,346	53,913
7	(除く債券関係損益)	51,609	△ 1,853	53,462
8	資金利益	47,350	△ 1,632	48,982
9	役務取引等利益	4,273	△ 166	4,439
10	その他業務利益	6,635	6,144	491
11	(うち債券関係損益)	6,649	6,199	450
12	国際業務粗利益	6,351	2,336	4,015
13	(除く債券関係損益)	3,671	140	3,531
14	資金利益	3,343	168	3,175
15	役務取引等利益	53	△ 2	55
16	その他業務利益	2,954	2,169	785
17	(うち債券関係損益)	2,680	2,197	483
18	経費(除く臨時処理分)(△)	37,158	△ 795	37,953
19	人件費(△)	18,441	△ 310	18,751
20	物件費(△)	16,883	△ 370	17,253
21	税金(△)	1,834	△ 114	1,948
22	業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	27,452	7,477	19,975
23	うちコア業務純益(注. 2)	18,177	△ 863	19,040
24	一般貸倒引当金繰入額①(△)	—	2,021	△ 2,021
25	業務純益	27,452	5,455	21,997
26	うち債券関係損益	9,330	8,396	934
27	臨時損益	299	7,259	△ 6,960
28	不良債権処理額②(△)	2,111	△ 4,207	6,318
29	貸出金償却(△)	1,776	△ 1,072	2,848
30	個別貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 3,134	3,134
31	貸出債権譲渡損(△)	14	△ 127	141
32	その他の不良債権処理額(△)	320	126	194
33	(与信費用①+②)	(2,111)	(△ 2,186)	(4,297)
34	貸倒引当金戻入益	78	78	—
35	償却債権取立益	966	△ 171	1,137
36	株式関係損益	△ 530	2,442	△ 2,972
37	株式等売却益	107	58	49
38	株式等売却損(△)	400	△ 320	720
39	株式等償却(△)	236	△ 2,065	2,301
40	その他臨時損益	1,895	703	1,192
41	経常利益	27,751	12,715	15,036
42	特別損益	△ 63	△ 1,457	1,394
43	固定資産処分損益	△ 54	△ 11	△ 43
44	退職給付制度改定益	—	△ 1,476	1,476
45	減損損失(△)	8	△ 29	37
46	税引前当期純利益	27,688	11,258	16,430
47	法人税、住民税及び事業税(△)	1,431	1,370	61
48	法人税等調整額(△)	6,964	△ 747	7,711
49	法人税等合計(△)	8,395	623	7,772
50	当期純利益	19,293	10,635	8,658
51	(ご参考) 与信コスト総額	1,039	△ 2,063	3,102

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益(債券5勘定戻)・買入金銭債権売却損益控除後の業務純益です。

3. 与信コスト総額は、与信費用に貸倒引当金戻入益・償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

4. (△)は損失項目です。

(ご参考) 貸倒引当金繰入額の内訳

		(百万円)		
		25年3月期	24年3月期比	24年3月期
52	一般貸倒引当金繰入額	△ 1,552	469	△ 2,021
53	個別貸倒引当金繰入額	1,473	△ 1,664	3,137
54	合計	△ 78	△ 1,193	1,115

(注) 25年3月期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計で取崩しとなりましたので、その合計額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

## (2) 業務純益

(紀陽銀行単体)	25年3月期	24年3月期	
		24年3月期比	24年3月期
① コア業務純益	18,177	△ 863	19,040
職員一人当たり(千円)	7,858	△ 293	8,151
② 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	27,452	7,477	19,975
職員一人当たり(千円)	11,868	3,317	8,551
③ 業務純益	27,452	5,455	21,997
職員一人当たり(千円)	11,868	2,452	9,416

## (3) 利鞘

&lt;全体&gt;

(%)

(紀陽銀行単体)	25年3月期	24年3月期	
		24年3月期比	24年3月期
① 資金運用利回 (A)	1.51	△ 0.11	1.62
貸出金利回 (B)	1.74	△ 0.09	1.83
有価証券利回	1.16	△ 0.13	1.29
② 資金調達原価 (C)	1.17	△ 0.08	1.25
預金等原価 (D)	1.17	△ 0.09	1.26
預金等利回	0.12	△ 0.04	0.16
経費率	1.05	△ 0.04	1.09
外部負債利回	2.48	△ 0.13	2.61
③ 総資金利鞘 (A) - (C)	0.34	△ 0.03	0.37
④ 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.57	-	0.57

&lt;国内業務部門&gt;

(%)

(紀陽銀行単体)	25年3月期	24年3月期	
		24年3月期比	24年3月期
① 資金運用利回 (A)	1.45	△ 0.11	1.56
貸出金利回 (B)	1.74	△ 0.09	1.83
有価証券利回	1.00	△ 0.19	1.19
② 資金調達原価 (C)	1.17	△ 0.08	1.25
預金等原価 (D)	1.15	△ 0.09	1.24
預金等利回	0.12	△ 0.04	0.16
経費率	1.03	△ 0.04	1.07
③ 総資金利鞘 (A) - (C)	0.28	△ 0.03	0.31
④ 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.59	-	0.59

## (4) 有価証券関係損益

(百万円)

(紀陽銀行単体)	25年3月期	24年3月期	
		24年3月期比	24年3月期
債券関係損益(債券5勘定戻)	9,330	8,396	934
売却益	11,408	6,442	4,966
償還益	-	-	-
売却損(△)	1,776	△ 1,480	3,256
償還損(△)	-	-	-
償却(△)	302	△ 472	774

(百万円)

(紀陽銀行単体)	25年3月期	24年3月期	
		24年3月期比	24年3月期
株式関係損益(株式3勘定戻)	△ 530	2,442	△ 2,972
売却益	107	58	49
売却損(△)	400	△ 320	720
償却(△)	236	△ 2,065	2,301

## (5) 有価証券の評価損益

## ①有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

## ②評価損益

(百万円)

(紀陽ホールディングス連結)	25年3月末			24年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△ 1,221	197	1,419	299	1,102	803
その他有価証券	28,865	32,310	3,444	14,023	22,042	8,018
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	4,473	4,473	—	5,161	5,161	—
合 計	32,117	36,981	4,864	19,484	28,307	8,822
株 式	8,774	10,155	1,380	1,308	3,696	2,388
債 券	11,475	12,908	1,433	12,536	13,384	848
その他	7,393	9,444	2,050	477	6,063	5,586
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	4,473	4,473	—	5,161	5,161	—

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。
2. 変動利付国債の一部については、合理的に算定された価額により評価しております。なお、保有している変動利付国債は、全て過年度に「その他有価証券」から「満期保有目的の債券」へ保有目的を変更しております。
3. 純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、25年3月末 22,514百万円、24年3月末 12,802百万円であります。

(百万円)

(紀陽銀行単体)	25年3月末			24年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	△ 1,221	197	1,419	299	1,102	803
その他有価証券	28,481	32,071	3,590	13,670	21,898	8,228
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	4,441	4,441	—	5,122	5,122	—
合 計	31,701	36,710	5,009	19,091	28,123	9,031
株 式	8,571	9,950	1,379	1,175	3,562	2,387
債 券	11,475	12,908	1,433	12,536	13,384	848
その他	7,213	9,410	2,197	257	6,054	5,796
保有目的区分の変更による 評価差額(注2)	4,441	4,441	—	5,122	5,122	—

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。
2. 変動利付国債の一部については、合理的に算定された価額により評価しております。なお、保有している変動利付国債は、全て過年度に「その他有価証券」から「満期保有目的の債券」へ保有目的を変更しております。
3. 純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、25年3月末 22,305百万円、24年3月末 12,587百万円であります。

## (6) 自己資本比率 (第二基準、国内基準)

## 【算出方法】

信用リスク	標準的手法
オペレーショナル・リスク	粗利益配分手法

(百万円)

(紀陽ホールディングス連結)	25年3月末 (速報値)	24年3月末	
		24年3月末比	24年3月末
① 自己資本比率	11.14%	△ 0.49%	11.63%
② Tier I 比率	8.84%	△ 0.16%	9.00%
③ 基本的項目	160,946	48	160,898
④ 補完的項目	41,876	△ 5,092	46,968
(イ) うち一般貸倒引当金	8,476	△ 1,892	10,368
(ロ) うち負債性資本調達手段等	33,400	△ 3,200	36,600
⑤ 控除項目	—	—	—
⑥ 自己資本 ③ + ④ - ⑤	202,822	△ 5,045	207,867
⑦ リスクアセット	1,820,054	33,898	1,786,156
(イ) 信用リスク	1,716,426	33,642	1,682,784
(ロ) オペレーショナル・リスク	103,627	256	103,371

(百万円)

(紀陽銀行単体)	25年3月末 (速報値)	24年3月末	
		24年3月末比	24年3月末
① 自己資本比率	10.42%	△ 0.48%	10.90%
② Tier I 比率	8.18%	△ 0.18%	8.36%
③ 基本的項目	148,158	△ 462	148,620
④ 補完的項目	40,401	△ 4,752	45,153
(イ) うち一般貸倒引当金	6,773	△ 1,552	8,325
(ロ) うち負債性資本調達手段等	33,400	△ 3,200	36,600
⑤ 控除項目	—	—	—
⑥ 自己資本 ③ + ④ - ⑤	188,559	△ 5,215	193,774
⑦ リスクアセット	1,809,499	32,873	1,776,626
(イ) 信用リスク	1,712,936	32,623	1,680,313
(ロ) オペレーショナル・リスク	96,563	250	96,313

## (ご参考)

(紀陽銀行連結)	25年3月末 (速報値)	24年3月末	
		24年3月末比	24年3月末
自己資本比率	10.68%	△ 0.47%	11.15%

## (7) ROE

(紀陽ホールディングス連結)	25年3月期		24年3月期
		24年3月期比	
当期純利益ベース(注1)	11.12	6.04	5.08

(注1)  $\frac{\text{当期純利益} - \text{優先株式配当金総額}}{\{ (\text{期首純資産の部合計} - \text{少数株主持分} - \text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{少数株主持分} - \text{期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) \} \div 2} \times 100$  (%)

(紀陽銀行単体)	25年3月期		24年3月期
		24年3月期比	
業務純益ベース(注2)	19.65	1.39	18.26
当期純利益ベース(注3)	13.72	6.88	6.84

(注2)  $\frac{\text{業務純益} - \text{優先株式配当金総額}}{\{ (\text{期首純資産の部合計} - \text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) \} \div 2} \times 100$  (%)

(注3)  $\frac{\text{当期純利益} - \text{優先株式配当金総額}}{\{ (\text{期首純資産の部合計} - \text{期首発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額}) \} \div 2} \times 100$  (%)

## 3. 貸出金等の状況

## (1) リスク管理債権 (紀陽ホールディングス連結)

\* 部分直接償却実施後

\* 未収利息計上基準：自己査定ベース

## ① リスク管理債権の状況

(百万円)

		25年3月末		24年3月末
			24年3月末比	
リスク管理債権	破綻先債権額	1,981	△ 751	2,732
	延滞債権額	82,542	181	82,361
	3カ月以上延滞債権額	34	34	—
	貸出条件緩和債権額	9,392	△ 1,315	10,707
	合計	93,950	△ 1,851	95,801

(注) 部分直接償却による減少額

25年3月末：破綻先債権額 21,227百万円、延滞債権額 22,567百万円

24年3月末：破綻先債権額 21,069百万円、延滞債権額 28,000百万円

(百万円)

	25年3月末	24年3月末
貸出金残高(未残)	2,575,933	2,539,253

(%)

		25年3月末		24年3月末
			24年3月末比	
貸出金残高比	破綻先債権額	0.07	△ 0.03	0.10
	延滞債権額	3.20	△ 0.04	3.24
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	—
	貸出条件緩和債権額	0.36	△ 0.06	0.42
	合計	3.64	△ 0.13	3.77

## ② 貸倒引当金等の状況

(百万円)

		25年3月末		24年3月末
			24年3月末比	
貸倒引当金合計		27,401	△ 2,023	29,424
	一般貸倒引当金	8,476	△ 1,892	10,368
	個別貸倒引当金	18,924	△ 131	19,055
	特定海外債権引当勘定	—	—	—

## ③ リスク管理債権に対する引当率

(%)

		25年3月末		24年3月末
			24年3月末比	
部分直接償却前		52.43	△ 2.43	54.86
部分直接償却後		29.16	△ 1.55	30.71

(注) 貸倒引当率=貸倒引当金/リスク管理債権

## (2) リスク管理債権 (紀陽銀行単体)

\* 部分直接償却実施後

\* 未収利息計上基準：自己査定ベース

## ① リスク管理債権の状況

(百万円)

		25年3月末	24年3月末比	24年3月末
リスク管理債権	破綻先債権額	2,051	△ 690	2,741
	延滞債権額	82,695	303	82,392
	3カ月以上延滞債権額	34	34	—
	貸出条件緩和債権額	6,655	△ 401	7,056
	合計	91,437	△ 752	92,189

(注) 部分直接償却による減少額

25年3月末：破綻先債権額 20,309百万円、延滞債権額 21,239百万円

24年3月末：破綻先債権額 19,987百万円、延滞債権額 26,538百万円

(百万円)

貸出金残高(末残)		2,582,839	36,637	2,546,202
(%)				
貸出金残高比	破綻先債権額	0.07	△ 0.03	0.10
	延滞債権額	3.20	△ 0.03	3.23
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	—
	貸出条件緩和債権額	0.25	△ 0.02	0.27
	合計	3.54	△ 0.08	3.62

## ② 貸倒引当金等の状況

(百万円)

		25年3月末	24年3月末比	24年3月末
貸倒引当金合計	貸倒引当金合計	24,076	△ 1,588	25,664
	一般貸倒引当金	6,773	△ 1,552	8,325
	個別貸倒引当金	17,302	△ 36	17,338
	特定海外債権引当勘定	—	—	—

## ③ リスク管理債権に対する引当率

(%)

		25年3月末	24年3月末比	24年3月末
部分直接償却前		50.12	△ 2.62	52.74
部分直接償却後		26.33	△ 1.50	27.83

(注) 貸倒引当率＝貸倒引当金／リスク管理債権



## (3) 金融再生法開示債権 (紀陽銀行単体)

\* 部分直接償却実施後

## ① 金融再生法開示債権の状況

(百万円)

	25年3月末	24年3月末比	
		24年3月末	24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,068	△ 2,707	22,775
危険債権	64,974	2,422	62,552
要管理債権	6,690	△ 366	7,056
小計①	91,733	△ 651	92,384
(合計債権残高に占める比率)	(3.50%)	(△ 0.08%)	( 3.58%)
正常債権	2,522,633	36,100	2,486,533
合計	2,614,366	35,449	2,578,917

(注) 部分直接償却による減少額

25年3月末：42,285百万円、24年3月末：47,209百万円

## ② 金融再生法開示債権の保全状況

(百万円)

	25年3月末	24年3月末比	
		24年3月末	24年3月末
保全額②	77,472	△ 597	78,069
貸倒引当金	13,917	△ 18	13,935
担保・保証等	63,554	△ 579	64,133
保全率②/①	84.4%	△ 0.1%	84.5%

&lt;平成25年3月末&gt;

(百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権額(A)	20,068	64,974	6,690	91,733
担保・保証等(B)	18,731	41,835	2,987	63,554
(B)によりカバーされていない部分 (C)=(A)-(B)	1,337	23,138	3,702	28,178
対象債権に対する貸倒引当金(D)	1,337	11,784	796	13,917
引当率(D)/(C)	100.0%	50.9%	21.5%	49.3%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	82.5%	56.5%	84.4%

&lt;平成24年3月末&gt;

(百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権額(A)	22,775	62,552	7,056	92,384
担保・保証等(B)	20,752	40,807	2,573	64,133
(B)によりカバーされていない部分 (C)=(A)-(B)	2,022	21,745	4,482	28,250
対象債権に対する貸倒引当金(D)	2,022	11,059	853	13,935
引当率(D)/(C)	100.0%	50.8%	19.0%	49.3%
保全率(B+D)/(A)	100.0%	82.9%	48.5%	84.5%

## (4) 開示債権における各種基準の比較 (紀陽銀行単体)

&lt;25年3月末&gt;

(単位: 億円)

自己査定結果				
債務者区分 与信残高	分類			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 20	6	13	— (3)	—
実質破綻先 180	149	31	— (10)	—
破綻懸念先 648	387	147	113 (117)	
要 注 意 先	要管理先 152	33	119	
	要管理先 以外の 要注意先 3,283	1,296	1,986	
正常先 21,715	21,715			
合計 26,001	23,588	2,298	113	—

金融再生法開示債権			
区分 与信残高	担保・ 保証等 による 保全額	引当額	保全率
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 200	187	13	100.0%
危険債権 649	418	117	82.5%
要管理債権 66	29	7	56.5%
小計(A) 917	635	139	84.4%
正常債権 25,226			
総与信(B) 26,143			

リスク管理債権	
区分	貸出金
破綻先債権	20
延滞債権	826
3カ月以上 延滞債権	0
貸出条件 緩和債権	66
リスク 管理債権 合計(C)	914
貸出金 残高(D)	25,828

総与信に占める  
金融再生法開示  
債権の割合  
(A) ÷ (B) 3.50%

貸出金に占める  
リスク管理債権  
の割合  
(C) ÷ (D) 3.54%

(注1) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 対象債権

・金融再生法開示債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、未収利息および貸出金に準ずる仮払金等を対象としております。

・リスク管理債権：貸出金を対象としております。

(注3) 要管理債権と要管理先債権の違いについて

要管理債権は貸出債権単位の集計であり、要管理先債権は要管理債権を有する債務者への総与信の集計であります。

(注4) 破綻先、実質破綻先および破綻懸念先の自己査定額における分類額

非分類額：引当金、優良担保(預金等)・優良保証(信用保証協会等)等でカバーされている債権

Ⅱ分類額：不動産担保等一般担保・保証等でカバーされている債権

Ⅲ分類額：全額または必要額について引当を実施、引当済分は非分類に計上  
(破綻先および実質破綻先については全額引当済)

Ⅳ分類額：全額償却を実施

(注5) 自己査定結果における( )内は、分類額に対する引当額であります。

## (5) 業種別貸出状況等 (紀陽銀行単体)

## ①業種別貸出金

(百万円)

	25年3月末	24年3月末	
		24年3月末比	
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,582,839	36,637	2,546,202
製造業	390,944	9,141	381,803
農業、林業	2,664	△ 302	2,966
漁業	1,813	△ 214	2,027
鉱業、採石業、砂利採取業	4,277	△ 1,322	5,599
建設業	106,877	△ 5,008	111,885
電気・ガス・熱供給・水道業	17,460	4,922	12,538
情報通信業	9,732	590	9,142
運輸業、郵便業	67,827	2,910	64,917
卸売業、小売業	297,254	7,870	289,384
金融業、保険業	73,970	△ 5,158	79,128
不動産業、物品賃貸業	327,789	△ 2,383	330,172
各種サービス業	204,931	10,934	193,997
地方公共団体	272,757	22,407	250,350
その他	804,544	△ 7,750	812,294

## ②業種別リスク管理債権

(百万円)

	25年3月末	24年3月末	
		24年3月末比	
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	91,437	△ 752	92,189
製造業	16,680	2,580	14,100
農業、林業	171	△ 19	190
漁業	11	△ 1	12
鉱業、採石業、砂利採取業	1,281	△ 175	1,456
建設業	7,218	△ 950	8,168
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	277	△ 26	303
運輸業、郵便業	3,625	709	2,916
卸売業、小売業	17,374	△ 899	18,273
金融業、保険業	2,009	2	2,007
不動産業、物品賃貸業	22,504	△ 1,844	24,348
各種サービス業	9,881	△ 119	10,000
地方公共団体	—	—	—
その他	10,402	△ 10	10,412

## (6) 消費者ローン残高

(百万円)

(紀陽銀行単体)	25年3月末	24年3月末比	
		24年3月末	
消費者ローン残高	888,445	△ 10,385	898,830
うち住宅ローン残高	765,278	△ 4,667	769,945
うちその他ローン残高	123,167	△ 5,718	128,885

## (7) 中小企業等貸出比率

(百万円)

(紀陽銀行単体)	25年3月末	24年3月末比	
		24年3月末	
中小企業等貸出金残高	1,950,079	△ 9,620	1,959,699
中小企業等貸出比率	75.5	△ 1.4	76.9

## (8) 国別貸出状況等 (紀陽銀行単体)

## ① 特定海外債権残高

該当ありません。

## ② アジア向け貸出金

該当ありません。

## ③ 中南米主要諸国向け貸出金

該当ありません。

## ④ ロシア向け貸出金

該当ありません。

## (9) 預金、貸出金等の残高

(百万円)

(紀陽銀行単体)	25年3月末	24年3月末比	
		24年3月末	
預金等(期末残高)	3,599,132	83,606	3,515,526
預金	3,540,089	93,052	3,447,037
譲渡性預金	59,042	△ 9,446	68,488
預金等(期中平残)	3,516,520	49,138	3,467,382
預金	3,476,789	73,176	3,403,613
譲渡性預金	39,730	△ 24,039	63,769

預かり資産残高(期末残高)	208,665	4,735	203,930
投資信託	168,712	14,829	153,883
国債等	39,953	△ 10,093	50,046
個人年金保険等販売累計額	281,204	28,437	252,767

貸出金(期末残高)	2,582,839	36,637	2,546,202
(期中平残)	2,503,414	23,252	2,480,162

## (ご参考) 紀陽銀行 連結財務諸表

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	84,849	187,899
コールローン及び買入手形	61,239	110,000
買入金銭債権	2,830	941
商品有価証券	2,010	1,415
有価証券	1,069,123	984,622
貸出金	2,539,253	2,575,933
外国為替	1,865	2,103
その他の資産	41,953	27,285
有形固定資産	33,689	33,202
建物	10,554	10,226
土地	18,849	19,019
リース資産	156	145
建設仮勘定	—	39
その他の有形固定資産	4,129	3,771
無形固定資産	7,167	6,221
ソフトウェア	6,692	5,286
リース資産	21	5
その他の無形固定資産	453	929
繰延税金資産	17,109	5,657
支払承諾見返	15,389	13,467
貸倒引当金	△ 29,420	△ 27,398
資産の部合計	3,847,061	3,921,351
(負債の部)		
預金	3,443,206	3,536,422
譲渡性預金	61,488	52,042
債券貸借取引受入担保金	84,206	73,918
借入金	29,432	24,505
外国為替	14	11
社債	13,000	10,000
その他の負債	30,815	31,880
退職給付引当金	29	31
役員退職慰労引当金	32	32
睡眠預金払戻損失引当金	700	732
偶発損失引当金	327	362
再評価に係る繰延税金負債	178	178
支払承諾	15,389	13,467
負債の部合計	3,678,821	3,743,585
(純資産の部)		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	32,357	15,697
利益剰余金	41,265	57,830
株主資本合計	153,719	153,624
その他有価証券評価差額金	12,625	22,361
繰延ヘッジ損益	125	△ 134
土地再評価差額金	326	326
その他の包括利益累計額合計	13,077	22,553
少数株主持分	1,442	1,587
純資産の部合計	168,239	177,766
負債及び純資産の部合計	3,847,061	3,921,351

(ご参考)紀陽銀行 連結財務諸表

(2) 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成23年4月 1日 至 平成24年3月31日)	(自 平成24年4月 1日 至 平成25年3月31日)
経常収益	81,574	84,963
資金運用収益	59,273	56,266
貸出金利息	45,561	43,677
有価証券利息配当金	13,406	12,258
コールローン利息及び買入手形利息	133	138
預け金利息	7	36
その他の受入利息	164	154
役務取引等収益	11,348	11,314
その他の業務収益	7,733	14,011
その他の経常収益	3,218	3,370
貸倒引当金戻入益	—	199
償却債権取立益	1,699	1,629
その他の経常収益	1,519	1,540
経常費用	65,391	56,082
資金調達費用	7,012	5,508
預金利息	5,678	4,244
譲渡性預金利息	75	52
債券貸借取引支払利息	240	299
借入金利息	597	609
社債利息	404	248
その他の支払利息	15	52
役務取引等費用	3,900	3,986
その他の業務費用	6,034	4,049
営業経費	39,188	37,882
その他の経常費用	9,255	4,655
貸倒引当金繰入額	1,158	—
その他の経常費用	8,096	4,655
経常利益	16,182	28,880
特別利益	1,496	2
固定資産処分益	20	2
退職給付制度改定益	1,476	—
特別損失	107	67
固定資産処分損失	69	59
減損損失	37	8
税金等調整前当期純利益	17,572	28,815
法人税、住民税及び事業税	364	1,619
法人税等調整額	7,860	7,164
法人税等合計	8,224	8,784
少数株主損益調整前当期純利益	9,347	20,031
少数株主利益	81	124
当期純利益	9,265	19,906

(ご参考)紀陽銀行 連結財務諸表

(3) 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成23年4月 1日 至 平成24年3月31日)	(自 平成24年4月 1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	9,347	20,031
その他の包括利益	12,192	9,501
その他有価証券評価差額金	12,260	9,761
繰延ヘッジ損益	△ 93	△ 260
土地再評価差額金	25	—
包括利益	21,539	29,532
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	21,440	29,383
少数株主に係る包括利益	99	149

(ご参考) 紀陽銀行 個別財務諸表  
 (1) 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	84,840	187,885
現金	34,623	38,369
預け金	50,216	149,516
コ－ル口－ン	61,239	110,000
買入金銭債権	2,830	941
商品有価証券	2,010	1,415
商品国債	1,247	615
商品地方債	763	799
有価証券	1,070,999	986,431
国債	452,822	393,375
地方債	194,927	153,112
社債	128,926	171,761
株	37,074	41,669
その他の証券	257,248	226,512
貸出金	2,546,202	2,582,839
割引手形	32,190	31,017
手形貸付	134,737	130,564
証書貸付	2,128,914	2,154,074
当座貸越	250,360	267,184
外国為替	1,865	2,103
外国他店預け	739	677
買入外国為替	268	449
取立外国為替	858	976
その他の資産	30,766	15,533
前払費用	120	115
未収収益	3,875	3,557
金融派生商品	1,301	1,078
その他の資産	25,469	10,781
有形固定資産	33,945	33,516
建物	10,536	10,208
土地	18,849	19,019
リース資産	1,343	1,323
建設仮勘定	－	39
その他の有形固定資産	3,216	2,925
無形固定資産	7,101	6,083
ソフトウェア	6,653	5,159
その他の無形固定資産	447	924
繰延税金資産	15,394	4,167
支払承諾見返	15,387	13,466
貸倒引当金	△ 25,664	△ 24,076
資産の部合計	3,846,921	3,920,308



(ご参考) 紀陽銀行 個別財務諸表

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
( 負 債 の 部 )		
預 金	3,447,037	3,540,089
当 座 預 金	162,904	187,739
普 通 預 金	1,322,440	1,392,439
貯 蓄 預 金	27,489	26,990
通 知 預 金	9,077	11,577
定 期 預 金	1,841,056	1,829,762
そ の 他 の 預 金	84,069	91,580
讓 渡 性 預 金	68,488	59,042
債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保 金	84,206	73,918
借 用 金	29,432	24,505
借 入 金	29,432	24,505
外 国 為 替	14	11
売 渡 外 国 為 替	2	2
未 払 外 国 為 替	12	8
社 債	13,000	10,000
そ の 他 負 債	23,111	24,216
未 払 法 人 税 等	271	1,487
未 払 費 用	11,229	6,802
前 受 収 益	608	574
金 融 派 生 商 品	1,290	1,371
リ ー ス 債 務	1,298	1,259
資 産 除 去 債 務	402	409
そ の 他 の 負 債	8,011	12,310
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	32	32
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	700	732
偶 発 損 失 引 当 金	327	362
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	178	178
支 払 承 諾	15,387	13,466
負 債 の 部 合 計	3,681,917	3,746,556
( 純 資 産 の 部 )		
資 本 金	80,096	80,096
資 本 剰 余 金	32,357	15,697
資 本 準 備 金	259	259
そ の 他 資 本 剰 余 金	32,097	15,437
利 益 剰 余 金	39,509	55,460
利 益 準 備 金	2,373	3,041
そ の 他 利 益 剰 余 金	37,136	52,418
繰 越 利 益 剰 余 金	37,136	52,418
株 主 資 本 合 計	151,963	151,254
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	12,587	22,305
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	125	△ 134
土 地 再 評 価 差 額 金	326	326
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	13,040	22,497
純 資 産 の 部 合 計	165,003	173,751
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	3,846,921	3,920,308

(ご参考) 紀陽銀行 個別財務諸表

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

科目	前事業年度		当事業年度	
	(自 平成23年4月 1日 至 平成24年3月31日)		(自 平成24年4月 1日 至 平成25年3月31日)	
経常収益	76,311		79,627	
資金運用収益	59,170		56,201	
貸出金利	45,463		43,616	
有価証券利息配当	13,402		12,256	
コール口利息	133		138	
預け金利息	7		35	
その他の受入利息	164		154	
役務取引等収益	9,146		9,125	
受入為替手数料	2,870		2,836	
その他の役務収益	6,275		6,288	
その他の業務収益	5,317		11,726	
外国為替売買益	272		234	
外国債等債権売却益	—		2	
国債等債権売却益	4,966		11,408	
金融派生商品収益	18		39	
その他の経常収益	60		40	
貸倒引当金戻入益	2,677		2,573	
償却債権取立益	—		78	
株式等売却益	1,137		966	
株式の売却益	49		107	
その他の経常収益	1,490		1,420	
経常費用	61,275		51,875	
資金調達費用	7,012		5,508	
預金性預金利息	5,679		4,244	
債権借取引支払利息	76		54	
借入金利息	240		299	
社債利息	597		609	
リースワンプ支払利息	404		248	
その他の支払利息	11		49	
役務取引等費用	2		1	
支払為替手数料	4,652		4,798	
その他の業務費用	578		572	
その他の業務費用	4,073		4,225	
商品有価証券売却損	4,040		2,135	
国債等債権償却損	8		—	
国債等債権償却損	3,256		1,776	
その他の業務費用	774		302	
営業経常費用	—		57	
その他の経常費用	37,612		36,241	
貸倒引当金繰入額	7,958		3,191	
貸出金償却	1,115		—	
株式等売却損	2,848		1,776	
株式等償却	720		400	
株式の償却	2,301		236	
その他の経常費用	972		777	
経常利益	15,036		27,751	
特別利益	1,496		2	
固定資産処分益	20		2	
退職給付制度改定	1,476		—	
特別損失	101		65	
固定資産処分損失	64		57	
減損	37		8	
税引前当期純利益	16,430		27,688	
法人税、住民税及び事業税	61		1,431	
法人税等調整額	7,711		6,964	
法人税等合計	7,772		8,395	
当期純利益	8,658		19,293	